



2018 **1** JAN

平成 30 年 1 月 1 日発行
第 19 卷第 1 号 通算 215 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



題 字：水谷日尚上人
カット：石綿悦子

信のとびら

給仕第一

新年明けましておめでとうござ
います。本年もよろしくお願いま
す。

昨年は開筵式かいえんしきが無事挙行され、佛
立本旨講の発展を願う盛大なパー
ティーが開かれました。

今年平成三十年は、平成時代の締し

水谷随歡

めくくりの年で、来年は新たな元号げんごう
になります。時代の移り変わりの中
で、我々信徒がどのようにご奉公に
励み、弘通発展につなげていくか、
共に考えてゆきましょう。

さて、新年第一回目は給仕につい
て書きます。

法華経は別名を十種供養経と言います。その十種とは、華香、瓔珞、抹香、塗香、焼香、繒蓋、幢幡、衣服、伎楽、合掌恭敬です。華香は、花とその香り。瓔珞は、糸にたまを通して身を飾るもの。抹香は、粉にした香りを仏に振りかけてご供養するもの。塗香は、自分の体に香水を塗って臭気を消して不敬を避けるもの。焼香は、ご宝前に立てる良い香り。繒蓋は、白い絹で貼った布のこと。幢幡は、仏堂に飾る旗の類。伎楽は歌と舞い。合掌恭敬は手を合わせて礼拝すること。

元々は、法華経を説かれた仏様に、弟子や信徒が誠心誠意つくした姿形、つまり二千年前の仏様が一

日でも長生きして下さり、ご教導頂けるように心を込めた敬いのご奉公の形です。末法に生きる我々にとつては、御本尊を生きていらっしやる仏様としてお敬いし、お仕えさせていただくということなのです。ただ、我々がお仕えする御本尊は、あしろうこうしろうとは仰せられませんですから、どうしても気がゆるみ、お給仕は怠りがちになりやすいのです。欠けている所はないか、怠ってはいないかと、絶えず心を配らなければなりません。このように、純粹な気持ちでお仕えさせて頂くと、福德が自然と身についてくるのです。

これをしてやったのだから褒め

てくれ、対価をくれという人は割合多いのではないでしょうか。そうになると、相手によって自分の心が左右されるといふことになります。それでは困ります。常に同じ心で向かい、損得勘定そんとくかんじょう抜きにお仕えさせて頂くことです。それによってご奉公精神は強化されます。

ある信者さんの体験です。「子供が外でドングリを拾ってきて、水道で洗いご宝前に上げました。両親は、外におちていたものをご宝前にあげてよいものかと考えました。ところが子供は一番キレイで形の良いいものをご宝前にあげたのです」それを見た両親は、子供の純粋な敬いの心に気付かされたといいます。

ご宝前は、お題目を中心に仏様とお祖師様、そして先祖の方々も集まるところです。そこに真心まごころからのお給仕をさせていただくことは、先師上人方や先祖の恩に報いる一番のご奉公です。お初や珍しいものは、まずご宝前にお供えする。塵ちりの無いように磨みがく。香華灯明こうげとうみょうをあげる。信心は給仕に始まり給仕に終わるといいます。そうすることが信者としてのお給仕の基本であり大事なつとめだと心得てください。

日扇聖人　ご教歌に

仏前の香花燈明ふき掃除

すればわが身の福德となる

あけましておめでとぅございませう

水谷信洋



昨年四月には、念願であった本駒
込新本堂の開筵式かいえんしきが奉修されまし
た。多くの皆さんにご家族連れの



参詣をいただ
いた船上パー
ティーもにぎ
やかに開催す
ることが出来
ました。誠に
ありがとうございます。
ございます。こ

の開筵式は、平成十五年四月の日
尚上人御遷化ごせんげ以来、さまざまな困
難を乗り越えてようやく佛立本旨



講妙應寺の新本
堂が完成なつた
到達点とうたつてんであると
同時に、将来に
向けて妙法のご
利益を伝え遺すのこ
拠点きよてんが定まった
という出発点で

もあります。

平成三十年

のご奉公は、

家族協力して

お寺参詣を盛

んにすること

を中心に、次

世代の方々に

信心の伝承でんしやう

を勧めてゆく年です。新年早々から

始まる寒参詣も、家族協力して参詣

を盛んにする意気に燃えてがんば

りましょう。その一助になるかどう

か、新年から水谷随欽師を副住職に



就任させて、住職のご奉公見習いを
させることになりました。いろいろ
と行き届かない面もあるうかと思
いますが、将来に向けての種まきと
思って皆さんのご支援ご協力をお
願ひします。

新年のご奉公がみなさんにとつ
て実りの多いものになりますよう



祈念して新
年のあいさ
つとさせて
いただきま
す。

1月のご奉公のすすめ

あけましておめでとうござい
ます。昨年には無事に開筵式が
奉修されました。今年はさらに
活気溢れるお寺を目指し、次世
代のご奉公者増加の目標を立
て、寒参詣に、助行に励みましょ
う。

一、随喜轉教について

「二年の計は元旦にあり」と
言われます。年の初めから家族
中でお寺参詣させて頂き祈願を
立てるご弘通の習慣を、家族中
で身につけましょう。

・「開講本旨再興」祈願朝参詣
週間 1日(月)から7日(日)

・「開講本旨再興」祈願口唱会

21日(日)午前9時半

二、寒参詣開始

寒参詣は1月6日(土)から

2月5日(月)迄です。勤行は

平常通り朝7時から8時半迄、

ご法門は7時45分、日曜日には

ご利益談の発表があります。

「お参詣は身・命・財にわたる

幸運が自然に身につけて離れな

い」福德をもたらすと言われて

います。家族総参詣を目指して

参詣将引に励みましょう。

三、開講記念総講

1月7日(日)午前10時半よ

り高祖大士御命日総講に併せて

1月の寺内行事予定表

元日(月)

元旦会 午前6時半
六角堂初御看経

1日(月) 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

3日(水)

初総講・祝杯式 午前10時半

教講初顔合わせ

第一地区…二階ホール

第二地区…一階ホール

第三地区…和室

教講ご奉公始め

5日(金)

(ご奉公成就総言上)

寒参詣(2月5日迄)

6日(土)

勤行II午前7時

御法門II午前7時45分

運営会議

//

午前9時半

7日(日)

高祖大士御命日総講
併修開講記念総講・
授級褒章授与式

開講記念総講が奉修されます。
日扇聖人の開講本旨再興を目指す
佛立本旨講の原点となるお総
講です。日尚上人への報恩の思
いで、皆でお参詣させて頂きま
しょう。

四、諸行事

①「初総講」は、1月3日(水)
午前10時半より奉修されます。
受持講師の紹介と祝杯式は本堂
で、教講初顔合わせは12時半よ
り各地区別に行われます。

②「開導嗣法第四世日教上人
御祥月法要」は、開導聖人御命
日総講に併修し1月17日(水)
午前10時半より奉修されます。
関東のご弘通の基を築いて下
さった日教上人への報恩の思い

でお参詣させて頂きましょう。

③「成人式」は1月21日(日)
午前11時より行われます。今一
度該当者の将引をさせて頂き、
若い方の輝かしい門出を皆でお
祝いしましょう。

④「佛立本旨講初燈明料奉納」
は、お初穂信心を教わる大切な
ご奉公です。功德箱を活用し、
家族皆でお初穂を差し上げる喜
びを身に付けましょう。

五、予告

①「高祖大士御降誕会総講」
が2月11日(日)に奉修されま
す。

②「門祖会」は、2月18日(日)
に奉修されます。

13日(土)
連合幹事会
午前10時半

午後9時半
後続者育成連絡会

17日(水)
開導聖人御命日総講
併修開導嗣法第四世・
日教上人御祥月法要
午前10時半

21日(日)
開講本旨再興祈願口唱
会(担当第二地区)

25日(木)
成人式
午前9時半
門祖聖人御命日総講
午前10時半

正副教区長会

午後0時半

第一地区…和室

第二地区…二階ホール

第三地区…一階ホール

佛立本旨講初灯明料・

初御供米料・寒供養奉

納締め切り日

31日(水)

妙應寺の大切な新芽の成長をねがう七五三

11月19日に本堂及び25日に六角堂にて、七五三無事養育成長御礼言上式が行われました。

この時期は風邪でダウンするお子さんが多く、今年も品川区のAちゃん（三歳）のみが出席。まるで日本人形のように愛らしく、ちよつぴり恥ずかし気



↑本堂 (11/19) ↓六角堂 (11/25)



でニコニコ顔のAちゃんが、本堂一杯の拍手に迎えられ入堂。御看経後、御導師より記念品を手渡され、また笑顔。

翌週25日、六角堂では初めて行われた七五三無事養育成長言上式。丹Yちゃん（七歳）がご両親、姉妹、祖父母らご家族から祝福を受けました。

今後、六角堂でも七五三のお祝いさせて頂きましよう。

平成29年10月の寺内行事報告

- 1日～7日 開講本旨再興祈願 朝参詣週間
- 1日(日) 開講本旨再興祈願総講を午前10時半より奉修
- 〃 運営会議を午後0時半より開催
- 7日(土) 連合幹事会を午前9時半より開催
- 〃 後続者育成連絡会を午前10時半より開催
- 8日～14日 高祖会無事奉修祈願朝参詣週間
- 14日(土) 高祖会準備ご奉公を午前9時半より実施
- 15日(日) 高祖会を奉修

三島・聞泉寺高祖会に参詣させて頂きました

11月
12

当日は快晴に恵まれて、絵ハガキの様に美しい富士山に迎えていただきました。

御会式では妙應寺参詣団58名（バス48名、新幹線・自家用車10名）、同じく応援参詣されていた聞信寺と、聞泉寺信者さん



とで本堂一杯に力強いお題目が響き渡り、参詣者一同「参詣出来て良かった！」と随喜致しました。

聞泉寺・聞信寺信者さんとは御会式などで交流する機会も増えて、顔見知りの方も多く、お互いに再会を喜び合っていました。

今回は第三地区の当番参詣でしたが、水魚会、他地区の皆様にも応援参詣頂き、異体同心・和気あいあい、参詣者一同楽しい喜びの一日を過ごせました。

第三地区 井上京子

第一座 午前10時

第二地区・第三地区（杉並・豊島）

第二座 午前11時半

第一地区・第三地区（西部連合）

17日（火）
開導聖人御命日総講を

午前10時半より奉修

22日（日）
開講本旨再興祈願口唱会

を午前9時半より奉修

//
若い人の口唱会を午前

10時半より奉修

25日（水）
門祖聖人御命日総講を

午前10時半より奉修

//
正副教区長会を午後0

時半より開催

31日（火）
赤い羽根共同募金を締

め切りました。

特別御講 名古屋

11月
18

Kさんのお宅で奉修。

御講には孫・曾孫を含め22名のお参詣があり、ご披露係、お拍子木係、御導師お迎え等を曾孫さんがご奉公しました。

喜びの報告は、孫のM子さんのご主人Y男さんが御利益をご披露されました。



Kさんは今年95歳になり、体調も万全でなく、足腰も弱っておられますが、毎日5本のお

看経を続けておられ、百歳まで頑張るとのご奉公目標をお持ちで、私達も見習いたいものです。

特別御講 長野

11月
26

Tさん席にて奉修、玄関に入ると大人達の靴と子供達の可愛い靴、奥の部屋からはふざけ合う笑い声、長野教区はどの家族も家族全員参詣が当たり前なのです。

御看経が始まると2、3歳の幼児達もきちんと座って御看経。H君の元気な掛け声で百日参詣体操。ご利益談は席主がお母さんの脳梗塞手術が無事成功し、昨日退院して本日元気に



お参詣
成就の
お礼。
また、
この8
月には
長男に
二人目
の子供

誕生、次男の二人の孫とともに合わせて4人の孫のお婆ちゃんになり、毎日にぎやかに暮らしていますと。

座談会では子供達も喜びを発表。古き良き伝統をしっかり受け継いでいる重みを実感しました。

(護法委員 久米昭子)

お教化特集

何ごとも成す異体同心

糠谷信章師

清水の義姉から電話が有り、東京に住む友達のご主人が肝硬変で医師から見離され、葬儀を出すのに困っているから相談のつてほしいとの連絡でした。

お寺に来て頂き話を聞くと、経済的に苦しくて葬儀の費用が出ないと云うのです。

当宗は葬式仏教ではないことを伝え、ご信心する人の最後のお送りはさせて頂きますよ、ありがたいご信心ですから是非入信なさるようすすめました。皆様ご主人の御祈願をさせて頂くことを伝えるうちに、入信を決意なさいました。さっそく受持ち教区に協力をあおぎ、御本尊

奉安、御祈願、葬儀と無事に勤めることができました。本当に経済的に困っていました。葬儀社の協力と教区の皆さんの厚い志で無事お送りさせて頂けたのです。この事は今でも忘れません。

さっそく育成助行がはじめられ、尽七日忌には無事納骨をすませました。女性一人ぐらして仕事もあり時間のない方ですが、命日のお寺参詣や班長さんのお助手も受けて下さるようまで育ち、役中さんの育成ご奉公のおかげと思えます。

信心を知らない人に、信心の大事を伝えることは非常にハ―

ドルが高く、言葉だけでは難しいものです。ところが皆さんの親切心を身近に感じて感謝の気持ちがあわきあがることを体験しました。後日、主人が使っていたパーバリーのコートを着て下さいと渡され、よろこんで頂いたことを知りました。

「異体同心ならば何事を成し、同体異心ならば諸事叶ふことなし」とのご指南を思い出し、事あるごとに「異体同心」にて事にあたるようご奉公させて頂くようにしています。

また、葬儀は信者でない人も多く集まる場面なので、ご信心の有難さが式典から感じられるよう教講の協力で勤める事が大切だと思います。

勉強も楽しかったくんげ会・蓮華会合同御講

12月
3

今年最後の合同御講では、和室にて御宝前とお道具、お数珠についてのお話を水谷随歓師にしていたいただきました。大きな模造紙に書かれた御宝前の絵に、一つひとつ作られたお道具

の絵をどこに置くのが正しいのかをお話の復習を兼ねて、クイズで実践していききました。子供たちにとっては少し難しかったかもしれませんが、何か印象に残っていたらいいと思います

す。
その後ホールにて、新聞紙折りたたみゲーム、並びっこ、なんでもバスケットといったレクリエーションをして楽しみました。中でも、なんでもバスケットはみなさん必死であつく盛り上がりました。



平成三十年度年回忌一覽表

第一周忌	平成29年 （2017年）
第三回忌	平成28年 （2016年）
第七回忌	平成24年 （2012年）
第十三回忌	平成18年 （2006年）
第十七回忌	平成14年 （2002年）
第二十三回忌	平成8年 （1996年）
第二十七回忌	平成4年 （1992年）
第三十三回忌	昭和61年 （1986年）
第三十七回忌	昭和57年 （1982年）
第五十回忌	昭和44年 （1969年）

ご回向の心得

- 実家のご回向で母方の先祖が忘れられている場合があります。よく調べてご回向もれのないようにしましょう。
- 直系では曾祖父又は曾孫、傍系では、叔伯父母・甥姪などまで、ご回向いたしましょう。
- 水子も忘れず過去帳に記入してご回向の志を持ちましょう。
- 自殺・事故死・変死などにもご回向の志を持ちましょう。
- パートナー、恩師、友人、災害犠牲者、お世話になった方、従業員、重病で亡くなられた方、後を弔う方のいない人、御因縁の深い方などにも、ご回向の志を持ちましょう。
- 何より、ご回向はさせていただきだけ自分の徳になります。
- 「亡霊弔ひを待つ」（ご指南）

平成三十年度年間主要行事表

【平成29年度】 平成30年

【平成30年度】

元旦会・事教院六角堂 初御看経

1月1日(月・祝)

日尚上人祥月御命日法要・佛立本旨講創立記念式
4月22日(日)

初総講・祝杯式

1月3日(水)

立教開宗記念口唱会

4月29日(日)

寒参詣

1月6日(土)～2月5日(月)

蓮華会錬成会

5月20日(日)

開講記念総講(高祖大士御命日総講に併修)

1月7日(日)

日歡上人祥月御命日法要

5月27日(日)

日教上人御祥月法要(開導聖人御命日総講併修)

1月17日(水)

夏期参詣
7月1日(日)～31日(火)

成人式

1月21日(日)

くんげ会・蓮華会合同御講

8月19日(日)

高祖御降誕会総講(高祖大士御命日総講に併修)

2月11日(日)

日晨上人祥月御命日法要

8月26日(日)

門祖会

2月18日(日)

竜の口御法難記念口唱会

9月2日(日)

れんげまつり(高祖大士御命日総講に併修)

3月11日(日)

秋季彼岸総回向法要

9月23日(日)

春季彼岸総回向法要

3月21日(水・祝)

高祖会
七・五・三無事養育成長御礼言上式

11月18日(日)

蓮華会・くんげ会合同御講 12月2日(日)

平成31年

元日会・事教院六角堂 初御看経

1月1日(火・祝)

初総講・祝杯式

1月3日(木)

寒参詣

1月6日(日)～2月5日(火)

開講記念総講(高祖大士御命日総講に併修)

1月13日(日)

日教上人御祥月法要(開導聖人御命日総講に併修)

成人式 1月17日(木)

高祖御降誕会総講(高祖大士御命日総講に併修) 1月20日(日)

門祖会 2月10日(日)

れんげまつり(高祖大士御命日総講に併修) 2月17日(日)

春季彼岸総回向法要 3月10日(日)

3月21日(木・祝)

団参計画表

聞泉寺(三島)開導会 当番地区 第三地区

6月24日(日)

聞信寺(静岡)高祖会 当番地区 第二地区

11月11日(日)

聞泉寺(三島)門祖会 当番地区 第一地区

平成31年3月24日(日)

教区再編について

平成30年1月より

①かながわ連合の

かながわ東教区と同西教区が合併し、

「かながわ北教区」と、

②多摩連合の

町田教区とさがみ原教区が合併し、

「多摩教区」となります。

願い続けなければきつと

さがみ原教区 Sさん

長男と、母の応援祈願本当にありがとうございました。母は硝子体出血という目の病気から

片目が見えなくなりましたが、一番にお供水をいただきました。つ視力が回復しお供水のありがたさと、両目で見える喜びを感じております。今後、母も高齢ではありますが、祈願をかける限り一緒にご奉公させていただきます。

そして、息子も糖尿病黄斑浮腫という目の病気です。十五歳の時糖尿病とわかりましたが、

医師の指示もきかず治療の一切の拒否と暴飲暴食の毎日でした。このような状態が続けば糖尿病合併症は確実です。もう十

数年前のことになりますが、ある子どもの大病で苦しんでいたお母さんが御祈願と毎月のご有志を絶やさずされたことにより、乗り越えられたというご利益談をききました。これをすぐ実行し最初はまね事ではありましたが、いつしか、「大丈夫絶対助けてくださる」とここ十五年間ずっと今もお祈願ご有

志を続けさせていただいております。

残念ながら糖尿病合併症は避けられませんでした。軽い症状であり、その上息子の仕事にも差し障りなく、週一度の日帰り手術で無事すみました。

何よりもありがたいことは、今度は病気から逃げることなく病気と向かい合い、一生懸命戦う息子の姿でした。お陰様で主人の精神的な病気も落ち着き、顔つきが穏やかに優しい笑みを浮かべるようになりました。「あのご利益談は本当だったんだ」とただ感激して本当にありがたいと思っております。信念を持ち願い続ければ絶対

叶うと今回改めて教えて頂きました。今まで続けられたご有志も今度は息子自身がありがたいときせていただけるようがんば

ります。そう心に決め、私はご奉公がんばります。皆様の心より応援祈願本当にありがとうございます。

■私わのよろこびざわい 禍わざわいを転じて

小田原教区 SNさん

その日は、御導師お助行をお受けしていました。お盛物の準備をしていたら、姪が参詣に来ました。「子供たちは新学期で元気に学校に行っている？不安がったら抱きしめてあげてね。大人でも背中を優しく擦られると安心するものよ」と何気なく背中を擦りました。

すると、ポロリと涙を流して二日前にパートの仕事を辞めたことを話してくれました。以前のからの上司の嫌がらせに我慢が出来なくなつてのことでした。無理をし続けなくてもどこか他に仕事は見つかるよと言ったら、今から次の会社の面接を受けに行くところだと言います。

御祈願を立ててから行くように勧めたその場で書きました。結果がどちらでもそれがベストだからと励ましました。来た時とは打って変わった明るい顔をして面接に向きました。お助行の終盤姪が戻ってきました。玄関を入るなりVサインをしてニコニコしています。合格したのです。仕事初めは後日連絡しますと言っていたのが帰るときには来週から勤務してくださいとなつて本人も驚いていました。

御導師に事の次第を話すことが出来ました。三時間足らずの間に頂いたご利益にその場にいる皆で喜びあいました。

次世代の種まきコツコツと

都教区 Sさん

本日は、第一地区の都・中里連合都教区のGさんのお席で、

後継者育成助行を開催させて頂きました。参詣者は十一名でした。教区内の信者さんの術後回復祈願や、傷病平癒祈願、信行相続祈願をさせて頂きました。

沢山の信者さんで応援祈願を続けてゆくことで、家族の方々にありがたさが伝わるように、励んでいます。また、助行後のご披露で、若い人たちには、お寺のホームページやライン、フェイスブックの活用を促し、焦らずに根気よく丁寧な、ご信心を

さらに、Gさんの息子夫妻から自分たちも御本尊を拝受させて頂きたいと申し出がありました。おすがりさせて頂ける拠り所を求めていたのでしょうか。

きながら。

昔から人のうわさ話など、言

ったり、聞いたりするのが大っ

きらいでした。几帳面な長所の

裏返しは気忙しいところがあつ

て、話半分で動き出す失敗もた

くさん。皆様のお支えを頂きま

したことで、本当に感謝申し上げます。

長山清子

昭和12年1月10日に麻布霞町

(現西麻布)に生まれ、31年3月

乗泉寺に入寺、8月1日に得度。

その間、怪我や病氣もしました

が、いつも「大丈夫、大丈夫」としか言いません。

夏頃から足がむくんで靴がきつそうでしたが「大丈夫」と出かけてい

きました。ゆっくりゆっくり歩



長山泉聴師の思い出

平成29年9月23日帰寂

昭和12年1月10日に麻布霞町(現西麻布)に生まれ、31年3月乗泉寺に入寺、8月1日に得度。その間、怪我や病氣もしました。が、いつも「大丈夫、大丈夫」としか言いません。

夏頃から足がむくんで靴がきつそうでしたが「大丈夫」と出かけていきました。ゆっくりゆっくり歩

長山清子

★こどもたちの会★

こども お母 しんじん 「子供から教わったご信心」





六角堂のバラ 和音